

特別活動の基本方針

1 特別活動で目指す子ども

互いのよさや可能性を生かしながら、よりよい学級（学校）生活をつくり出す活動を通して、豊かな人間性や社会性を身に付ける子ども

子どもが将来過ごすことになる社会は、多様な価値観や信条をもった様々な人々で構成されている。様々な人が暮らしているからこそ、そこには葛藤や確執が生じる。そのときに、互いの違いを乗り越え、協力し合って活動していく力が求められる。様々な考えを持つ人々で構成される学校は、子どもにとって社会の縮図である。特別活動に求められているのは、学校の中で、互いの良さや可能性を生かしながらよりよい生活をつくり出していく活動を繰り返すことで、子どもに実社会で生きて働く豊かな人間性や社会性を身に付けさせることである。

学校が社会の縮図である以上、問題の解決にあたっては、特定の誰かの意見によって決められるべきではない。集団に所属する全員が問題の解決に向け、年齢や性別といった属性、考え方や関心、意見の違いを理解した上で認め合い、合意形成を図ってよりよい解決策を決め、協力して取り組んでいかなければならない。課題の発見から、活動、振り返りまでの一連の学習過程を通して、子どもは豊かな人間性と社会性を身に付けていく。

当校の特別活動においても、集団を構成する一人ひとりが互いのよさや可能性を発揮できるような活動を通して、違いを認め、よさを生かし合える豊かな人間性と、多様な他者と協力しながら、自分たちの生活をよりよく変えていこうとする豊かな社会性を身に付けた子どもを育てていく。

2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 第4学年：学級活動（1）

自分と違う立場の考えも大切にしながら話し合い、目指す学級の在り方に照らして適切な方法を選択する子ども

海津は、第4学年の学級活動において、まず、教科等で子どもが学習した内容と、実生活との間にずれのある資料を提示する。学習したことが実生活で生かされていないことに気付いた子どもは、「どうしたらこの状況を変えられるだろうか」と考える。ここで見出した課題について個別に取り組ませる。

次に個別の実践を振り返らせる。子どもは、うまくいった部分もあるが、まだ十分に改善されていない部分もあることに気付く。これ以上は個々の力だけでなく、全員で力を合わせる必要があると感じた子どもは、「みんなでやったらもっとよくなるのではないか」と問いをもつ。

その後、メリット・デメリットに分けて具体的な方法について検討をしていく。誰にとってのメリット(デメリット)なのかを考えることを通して、子どもは自分と違う立場の気持ちも考えながら話し合う。しかし、どの方法も一長一短であり、簡単に決められないことが分かる。

そのような子どもに、「どんな学級を目指したいのか」と問い、その学級を目指すためにはどの方法がよいのかを考えさせる。子どもは「僕たちは約束を守れるクラスになりたいから、やっぱり〇〇の方法がいいんじゃないか」などと、目指す学級の在り方に照らして適切な方法を選択する。

3 特別活動で育成する資質・能力

	学級活動	児童会活動・クラブ活動・学校行事
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○集団活動の意義についての知識 ○自主的な話し合い活動の進め方についての知識や技能 ○日常生活や学習への適応及び健康安全についての知識や技能 ○現在及び将来の自己の課題と、学習との関連についての理解 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康な社会づくりの意義についての理解 ○健全な食生活を実現するために必要な知識や技能 	<p>【児童会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○異年齢により構成する役割を共有する集団における自治的な活動を通して獲得する知識や技能 ○自治的組織についての意義や役割についての知識 <p>【クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○選択した同好の集団における活動を通して獲得する知識や技能 ○同好の集団についての意義や役割の知識 <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年や学校など大規模な集団における学校行事を通して獲得する知識や技能 ○行事についての意義や役割についての知識
② 思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と他者との考えや立場の違いに気付いたり，認めたりする力 ○所属する様々な集団や社会，自己の生活上の課題を見いだす力 ○様々な立場に立って考える力 ○合意形成を図る力 ○困難や課題を克服するために，活動を工夫する力 ○集団で決定した解決策に取り組む力 ○必要な情報を収集したり，判断したりする力 ○将来を見通して自己の生き方や集団の在り方を選択・形成する力 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの健康や食の状況を適切に評価する力 ○健全な食生活を実現するために，必要な情報を収集し，何が必要かを考える力 ○適切に意思決定し，意思決定を実行するために必要なことを身に付ける力 	
③ 態度	<ul style="list-style-type: none"> ○協力して目標を達成しようとする態度 ○現在の生活を改善しようとする態度 ○他者の意見を尊重し，合意形成を図ろうとする態度 ○自分のよさや可能性を生かそうとする態度 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な食に関する課題に関心を持ち，主体的に健全な食生活を実現しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○異年齢で構成される集団において，協力して目標を達成しようとする態度 ○よりよい学校生を作ろうとする態度 ○異年齢で構成される集団において，協力して目標を達成しようとする態度 ○所属感，連帯感，公共の精神などをもち，よりよい学校生活をつくらうとする態度

4 特別活動で働かせる見方・考え方

	人間関係形成	社会参画	自己実現
見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と他者との考えや立場の違いに着目すること 	<ul style="list-style-type: none"> ○所属する集団や，自己の目標と実態とを比較して考えること ○集団の課題に着目すること ○自分と他者との意見を比較して考えること 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動前後の自分を比較して考えること ○自分の在り方や生き方に着目すること ○自分の得意なことに着目すること